
来世でも会いましょう

臨

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

来世でも会いましょう

【Zコード】

Z9072L

【作者名】

臨

【あらすじ】

幕末の時代にのまれた恋人たちの話
ひとり残された女の思いと決意
約束を果たすために彼女は選択する

(前書き)

死ネタです

夢に見たことが現実でなければいいのに、そう思つ。ただ、現実は思つていたより残酷だった。

腕の中で崩れるのは愛しい者。

時代の流れにのつとり武士として立派に勤めた私の恋人。

任務のためならと、負け戦とわかつっていたのに最前線で戦い抜いたひとりの男は今やすらかとはいえないような壮絶な死を迎えた。

部下のために幾度とその体に銃弾を受け、自らを盾にした。

少しは残される私の気持ちを考えてほしいといもつのは我が儂なのか、それとも。

「あの人は、最後まで武士でいられたのですね。」

形見の、傷だらけの刀を差し出した恋人の上司は「ぐりと頷く。見事であつたと、そう。

全部、ぜんぶわかっていたつもりだった。
あの人は何れ戦場で死に逝くのだと。
頭では理解しているつもりだったのに。

顎を伝つて刀に落ちた滴はきらりと輝いた。

あの人と春に会う約束をしていた。

何度もともに歩んだ季節だといつにこんなにも桜は寂しそうだったか。

いや、私が寂しいだけなのだろう。

この季節は、桜は、私たちの思い出そのものだから。

「桜が似合つ人でしたね…。」

思い出を呼び覚まし、私はひとつ、桜並木を歩く。

いつか、また、あなたに会えるまでの時までわたしのこの泣き癖を直しておいた。

ただ、あなたに会えたその時はあなたのその胸で、一度だけ泣かせてください。

きっとあなたは困ったように笑いながらわたしにこういっておいで下さい。

「泣きたいだけなけばいい。俺はこうこうする。」

そういって、優しくわたしを受け入れてくれるのでしょうか。

もう武士の、刀の時代ではなくなりましたがこれからこの激動の時代を生き抜いたわたしたちがその意志を継いで、伝えていこうと思います。

だからあなたは、今。

ゆっくりと、お熙りください。

そしてわたしを待つていてください。

あなたの約束を

守らせてください。

(来世でも余こましゅう)

(後書き)

歴史好きなもんでかいてみたが擊沈
精進あるのみ

まあまだ小説書き始めたばかりなのであせらすに勉強していくたい

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9072/>

来世でも会いましょう

2010年10月17日03時27分発行